

# 事業別の概況

## ■ 売上概況

### ● 電子事業

液晶ディスプレイ用信号処理モジュールは、パソコンや携帯電話向けが伸びたいたしましたものの、大型液晶テレビ向けが期初から期央まで続いた生産調整の影響から前年同期を下回りました。また、液晶バックライト用インバータモジュールは、販路の拡大、生産能力の拡充に努めましたものの、テレビ市場の調整の影響が大きく前年同期並を確保するにとどまりました。積層チップパワーインダクタは、携帯電話の薄型化・多機能化に対応した製品ラインアップの充実に加え、携帯電話市場での高い評価を背景に生産能力の増強を実施したことなどにより、前年同期を大きく上回りました。モータは、OA機器用が前年同期並となりましたが、デジタルカメラ用・車載用が伸びたいたしました。光通信用部品は、海底ケーブル向けの受注獲得などにより、前年同期を上回りました。スイッチング電源は、サーバ用のスイッチング電源からDC-DCコンバータへビジネスの軸足を移行させており、その影響から前年同期を下回りました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期比5.5%減の462億2百万円となりました。

### ● 電池事業

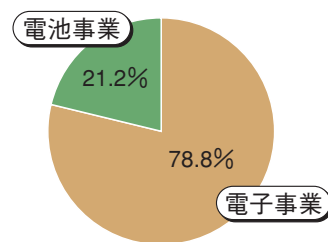
電池事業は、お客様にご満足いただけるような新製品開発と性能・安全性・環境面への配慮を追求した新技術開発を続け、皆様に愛される製品の提供を目指しております。

当中間期は、原材料価格が高水準で推移するなか価格競争が激化するなど厳しい環境となりました。主力のアルカリ乾電池は、国内においては昨年発売した富士通アルカリ乾電池「G.D.Rシリーズ」のさらなるシェア拡大を目指し拡販に努め

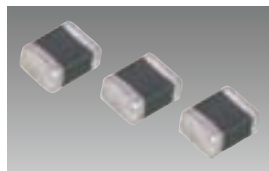
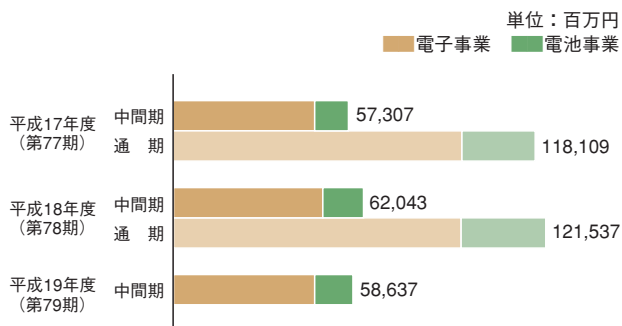
ましたが、海外において北米向けの受注が減少し前年同期を下回りました。リチウム電池は、防災機器向けを中心に伸びし前年同期を上回りました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期比5.5%減の124億34百万円となりました。

## ■ 売上高構成比率



## ■ 売上高



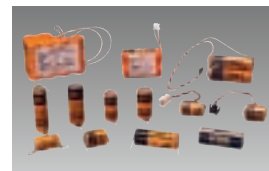
積層チップパワーインダクタ



モータ  
(左・車載用、右・デジカメ用)



富士通アルカリ乾電池  
「G.D.Rシリーズ」(単3形)



リチウム電池 (ポピン形)